

和文論文誌 D では、平成 19 年度 7 月号から毎年企画してきたレター特集に論文も募集する画像符号化・映像メディア処理に関する特集を平成 24 年度 9 月号から企画しています。本年もレター・論文両方を募集する形で「画像符号化・映像メディア処理特集」を平成 27 年 9 月号に企画致しました。

画像符号化の分野では、新しい映像符号化方式 HEVC (High Efficiency Video Coding) の第 2 版も標準化され、いまなお拡張規格の研究が活発に行われています。また、スマートホンやクラウド技術を利用した映像メディア処理は極めて身近な存在となり、様々なアイデアを盛り込んだソフトウェアやサービスが実用化されています。自由視点映像、ライフログ、インターネットの動画共有サイト、物体識別・追跡などの研究もますます発展し、HDTV を超える超高精細映像、超解像技術、3D テレビなど次々と実用化されています。このような背景から、この特集では画像符号化・映像メディア処理に関連する広い分野の論文及びレターを募集致します。PCSJ2014/IMPS2014 で発表された研究や、画像符号化及び映像メディア処理に関連する研究について着想段階の研究アイデアも含めて多くの方々からの積極的な御投稿を御願い申し上げます。

## 1. 対象分野

### ■画像符号化分野

符号化基礎、符号化画質評価、静止画像符号化、動画像符号化、標準方式関連技術、動きベクトル検出、動き補償、可変長／エントロピー符号化、領域分割／特徴抽出、オブジェクトベース／モデルベース符号化、ステレオ／多眼／三次元／自由視点映像の符号化、インターネットビデオ、ワイヤレスビデオ、符号化関連ハードウェア／ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

### ■映像メディア処理分野

映像処理基礎、自由視点映像、三次元画像技術、高精細画像技術、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成/CG/制作、画像の処理／認識、擬人化エージェント、HCI のための画像／処理／認識、映像処理 VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成／復元、動画像処理、色彩処理、ITS、電子透かし、ライフログ、生活支援、その他

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一です。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とし、12 ページ以上の論文でページ数超過の理由書の提出がない場合や、5 ページ以上のレターの場合は投稿を受け付けられないので御注意下さい。また、2014 年 4 月 1 日受付分より、早期公開の対象となります。詳細につきましては、「和文論文誌投稿のしおり」[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。

特集号発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 投稿締切日 平成 26 年 12 月 16 日 (火)

## 4. 投稿方法

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し、Web 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点がございましたら、学会事務局まで御連絡下さい。

### 【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

E-mail: wabun-d1@ieice.org

## 5. 問合せ先

市ヶ谷敦郎 NHK 放送技術研究所

〒157-8510 世田谷区砧 1-10-11

TEL [03] 5494-3354, FAX [03] 5494-3197

E-mail: ie-letter[at]mail.ieice.org

[at] は @ に読み替えて下さい (スパムメール対策)

## 6. 特集編集委員会

委員長 八島由幸 (千葉工大)

幹事 市ヶ谷敦郎 (NHK), 久保田 彰 (中央大), 井口和久 (NHK)

委員 川田亮一 (KDDI), 関口俊一 (三菱電機), 高橋桂太 (名大), 筒口 拳 (NTT), 内藤 整 (KDDI 研), 浜本隆之 (東京理科大), 坂東幸浩 (NTT-AT), 藤井俊彰 (名大)